



MORINAGA, YOH

組み立てを始める前にお読みください

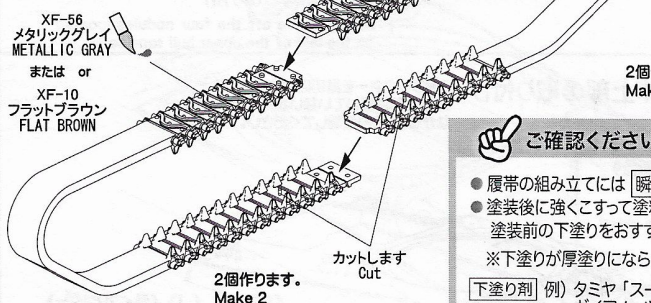
- あらかじめ組立説明書に目を通し、全体の流れを把握しておきましょう。
- このキットは5種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初にどの塗装例にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分注意下さい。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤、エッチングの接着には瞬間接着剤をご使用ください。

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

1 キャタピラの組立

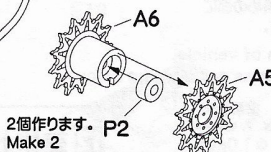
キャタピラはプラスチックモデル用接着剤で組立てます。接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。

Assemble the track with plastic model cement.



2 ドライブプロケットの組立

《ドライブプロケット》



XF-61
ダークグリーン
DARK GREEN

組立図中で特に指示のないところは全て基本色(ダークグリーン)です。

Where color is not specified please use DARK GREEN.

ご確認ください

- 履帯の組み立てには **瞬間接着剤** をご使用ください。
- 塗装後に強くこすって塗料が取れてしまうのを防ぐために塗装前の下塗りをおすすめします。

※下塗りが厚塗りにならないように気をつけてください。

下塗り剤 例) タミヤ「スーパーサーフェイサー」
ガイアノーツ「ガイアマルチプライマー」など

※各種下塗り剤の取り扱い、製品の注意書きをよく読んでご使用ください。

- For track assembly and paint.
- For track assembly, please use cyanoacrylate adhesive.

※Using undercoat to keep paints.

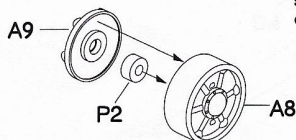
Undercoat

TAMIYA "Surface Primer primer"
Gaiyanotes "primer series"

3 ホイールの組立

《アイドラーホイール》

2個作ります。
Make 2

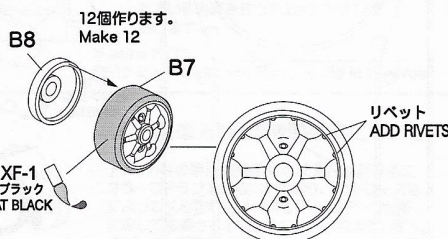


《ロードホイール》

ロードホイールはソリッドスポークタイプ(B7)を使用します。実車ではB20のスポークタイプを部分的に使用している例がみられます。

Use Solid spoke type (B7) as main wheel. Optionally replace individual wheels with spoke type (B20). Recommended to replace one or two B7 with B20.

選択可です。
Optional
B20

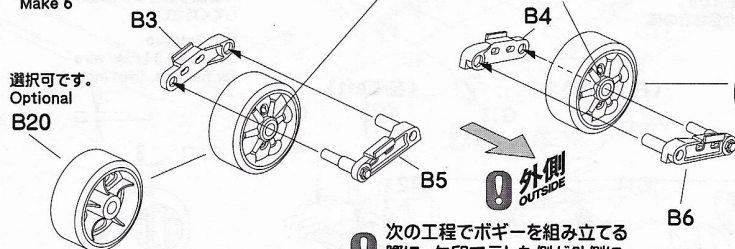


部品B7にはランナー上に彫刻されている半球を使ってリベットを追加できます。B20には不要です。

4 サスペンションアームの組立

各6個作ります。
Make 6

選択可です。
Optional
B20



ホイールに接着剤が着かないように注意します。

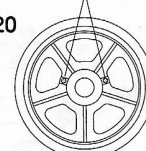
Part B5 and B6 must only be glued to part B3 and B4.

選択可です。
Optional
B20



GREASE NIPPLE
グリスニップル

B20



外側
OUTSIDE

部品B20を使用する場合は、グリスニップルがある面を外側にします。

5 ボギーの組立

左右各3個作ります。
サスペンションアームを組み込むまでは
間を開けず一度の工程で組み立てます。
図は左側用を示しています。

Make 3 for each side.
Following illustration shows
the left side.

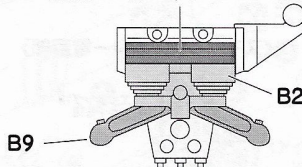
発泡ゴムのシートを約4.5ミリX11ミリの
大きさにカットします。下の図を参考に
カットしてください。

原寸
Cut rubber sheet.
4.5mm X 11mm

《発泡ゴムシート》Rubber sheet

カットした発泡ゴムのシートをサスペンションの間に
ピンセットなどで押し込みます。3枚が標準ですが、
情景などで台に固定する場合などは、前後のサス
ペンションを4枚にするなどしてテンションを調節し
ます。

《発泡ゴムシート》Rubber sheet



サスペンションの沈み込みの再現の必要ない場合、
発泡ゴムシートを組み込みます。B2を一番下まで下
げた状態(標準位置)で接着し、高さを固定する方
法もあります。お客様の使用状況に応じて選択して
ください。

B2とB9はスムーズに動くように
接着しません。B9は向きに注意
して取り付けます。

※接着しません。
Do not cement
B2 and B9.

※向きに注意
Note direction of B9.

※接着しません。
Do not cement.

B18
(右側用B19)

※接着しません。
Do not cement.

B15
(右側用B16)

Rubber sheets

B9

B2

B14

※接着しません。
Do not cement.

B22
(右側用B21)

B2

B9

※接着しません。
Do not cement.

※接着しません。
Do not cement.

※接着しません。
Do not cement.

外側
OUTSIDE

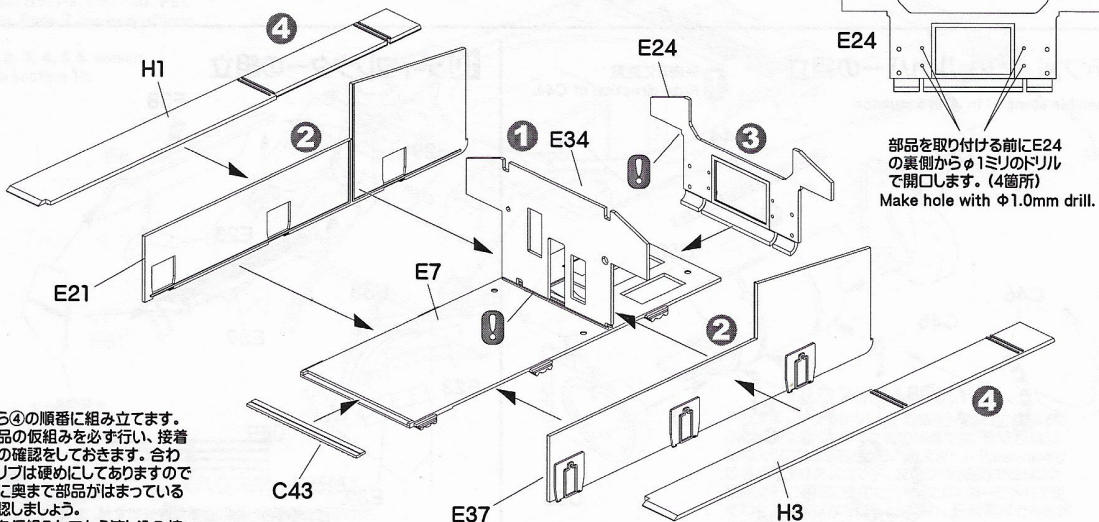
外側
OUTSIDE

① B18とB22 (右側用はB19とB21)が完全に
固着する前にサスペンションアームをボギー
に押し込みます。
アームの車体側と外側の向きに注意します。
Push road wheels in before cement sets.

② 接着が乾くまで動かさ
ないようにします。
Until glue dries,
try not to move.

6 車体下部の組立

① このマークのところは仮組みしやすいように
合わせが硬いので注意します。
Some parts may be a tight fit.



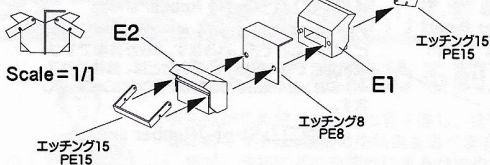
部品を取り付ける前にE24
の裏側からφ1ミリのドリル
で開口します。(4箇所)
Make hole with φ1.0mm drill.

①から④の順番に組み立てます。
各部品の仮組みを必ず行い、接着
部分の確認をしておきます。合わ
せのリブは硬めにしていますので
確実に奥まで部品がはまっている
か確認しましょう。
部品を仮組みしてから流し込み接
着剤で接着するとよいでしょう。
この工程は中断せずに一度に組み
立ててください。

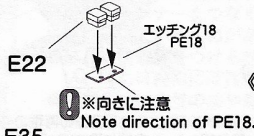
Assemble steps ① to ④ in sequence. This assembly should be performed without interruption.

7 リヤパネルの組立

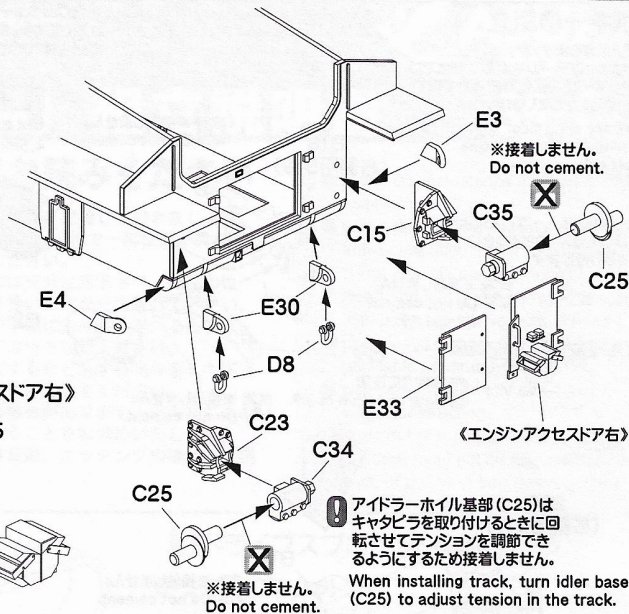
《スモークエミッター》



《スモークエミッター電源部》



《エンジンアクセスタ右》

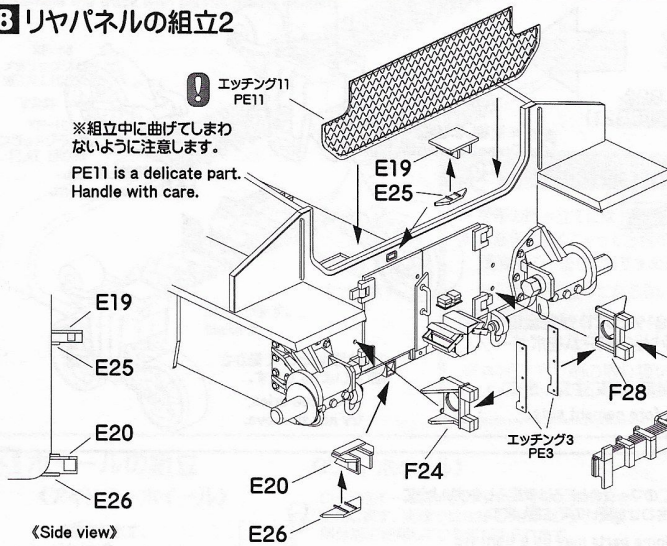


※接着しません。
Do not cement.

※接着しません。
Do not cement.

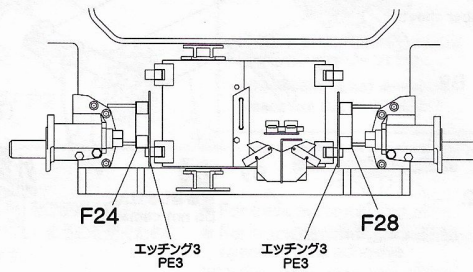
① アイドラーホイール基部 (C25) はキャタピラを取り付けるときに回転させてテンションを調節できるようにするため接着しません。
When installing track, turn idler base (C25) to adjust tension in the track.

8 リヤパネルの組立2



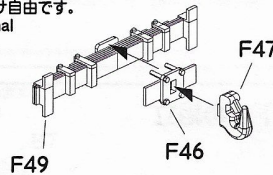
※組立中に曲げてしまわないように注意します。
PE11 is a delicate part. Handle with care.

《Side view》



《牽引フック》Optional

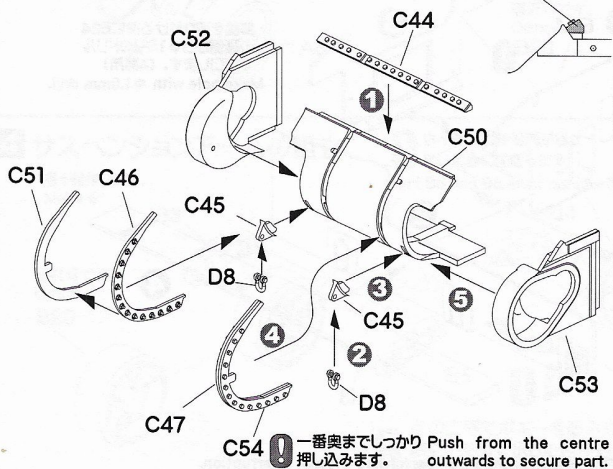
② 取り付け自由です。
Optional



9 テアレンシャルカバーの組立

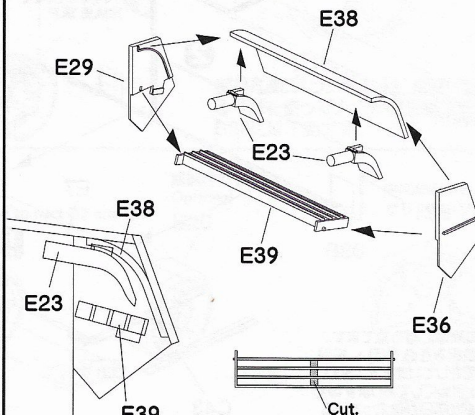
Assemble steps ① to ⑤ in sequence.

① ※向きに注意
Note direction of C44.



⑤ 一番奥までしっかり押し込みます。
Push from the centre outwards to secure part.

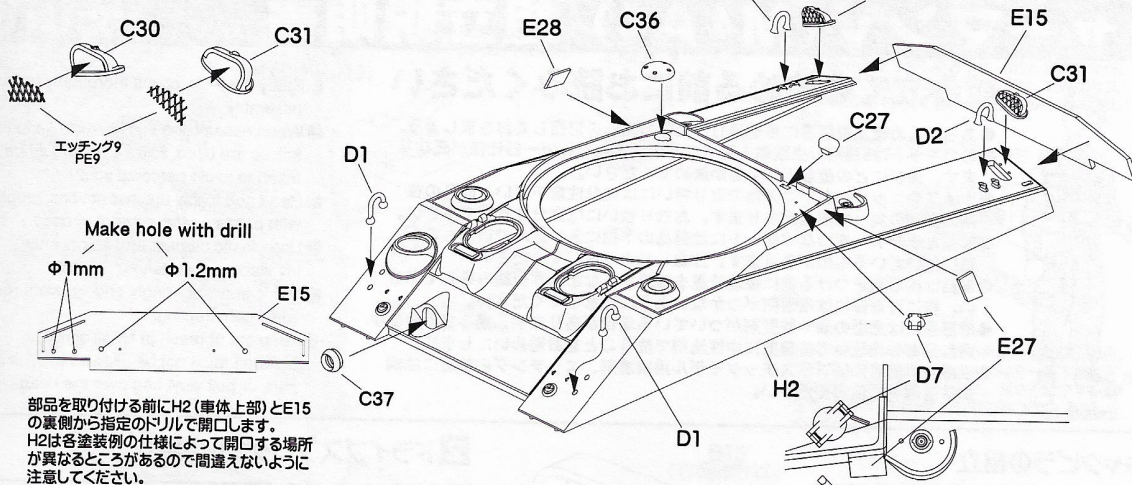
10 デイフレクターの組立



② 成形のために必要な部分ですが、実物にはないところなので気になる方は切り取るとよいでしょう。
Please cut out middle bridge. Middle bridge was included to help molding.

11 車体上部の組立

《グローサーボックスカバーの組み立て》



部品を取り付ける前にH2 (車体上部) とE15の裏側から指定のドリルで開口します。H2は各塗装例の仕様によって開口する場所が異なることがあるので間違えないように注意してください。

車体上部前面の開口部は斜めの面に対して直角方向に開けます。

1 Make hole. Attn type of vehicle. Position and diameter as per drawing below.

塗装例1 Ex. 1. vehicle. $\phi 1.0\text{mm}$
 塗装例 3, 5 Ex. 3 & 5. vehicle. $\phi 1.0\text{mm}$
 塗装例1 Ex. 1. vehicle. $\phi 1.0\text{mm}$

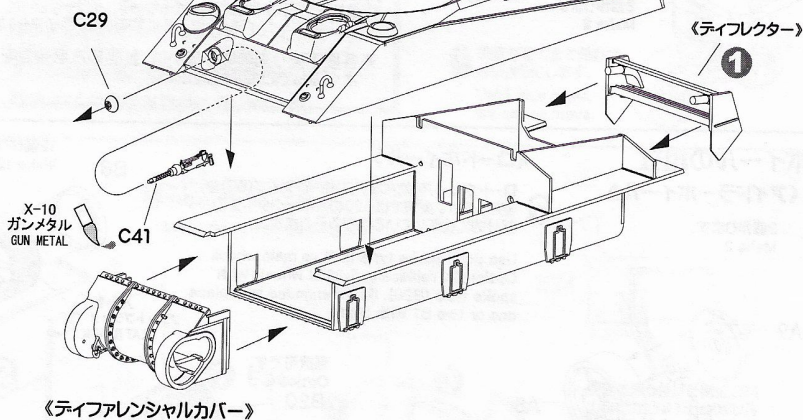
2 車体上部左側の止め具模様を削り取ります。(4ヶ所)
 Please shave off the four nodules located on the left of the upper hull topside.

12 車体上部の取り付け

ティフレクターを最初に取り付けます。車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり接着してください。

3 車体前方機銃C41は車体上部には接着せずに機銃防盾C29にのみ接着します。

Part C41 must only be glued to part C29.

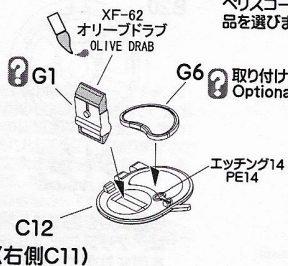


13 ドライバースハッチの組立

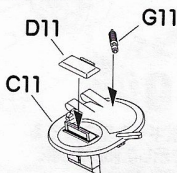
《ハッチ裏側の工作》

4 G6は閉状態のときは取り付けません。開状態のときも取り付け自由です。ペリスコープ(G1)は透明か色付きの部品を選びます。

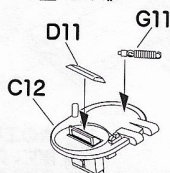
5 取り付け自由です。Optional



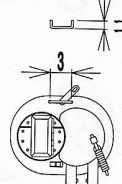
《右 Right》



《左 Left》

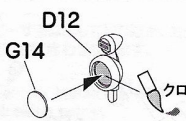


$\phi 0.3\text{mm}$ 位の真鍮線等を使用してハッチに取手を付けるとよりリアルに仕上がります。下の原寸図を参考に工作してください。
 For Detailup Using $\phi 0.3$ brass wire for handles. (Not included)



14 車体上部部品の取り付け

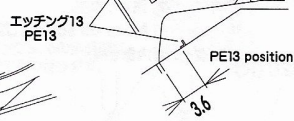
《ヘッドライト》
2個作ります。
Make 2



X-11
クロームシルバー
SILVER

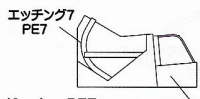
《ヘッドライト》

エッチング13 塗装例 1, 2, 4
PE13 Ex. 1, 2 & 4 vehicle.
直角に折り曲げて
右図を参考に取り
付けます。



エッチング13
PE13
PE13 position
φ0.6

ヘッドライトガードにエッチングを使用
する場合はC部品のランナーに彫刻さ
れている治具を使ってエッチング7を
曲げます。



エッチング7
PE7
If using PE7,
PE7 is bent with the Bending Jig
in C-sprue.

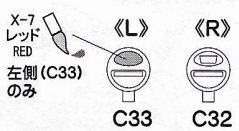
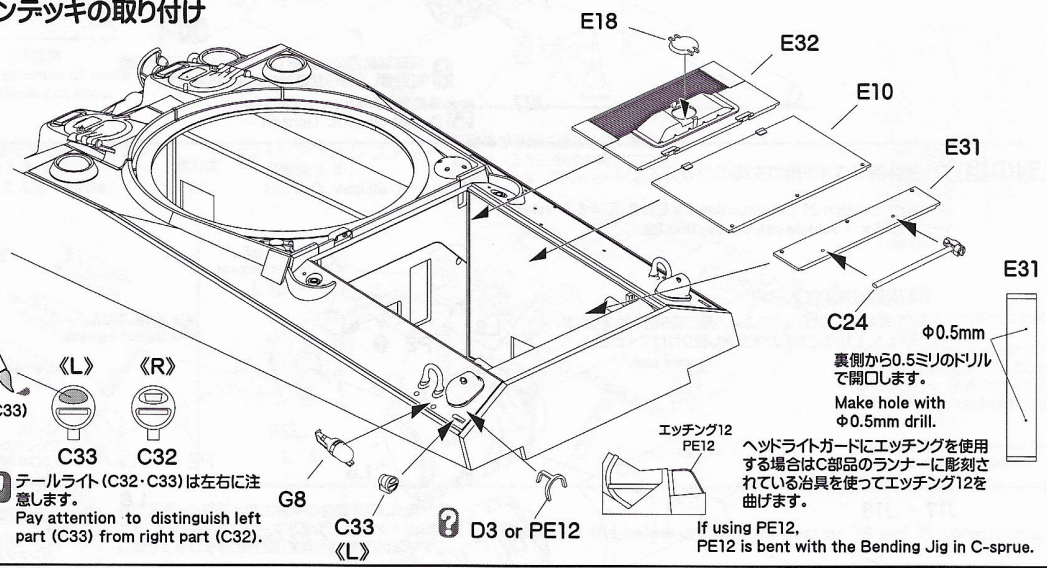
D9 or PE7



D9 or PE7

C48

15 エンジンテッキの取り付け

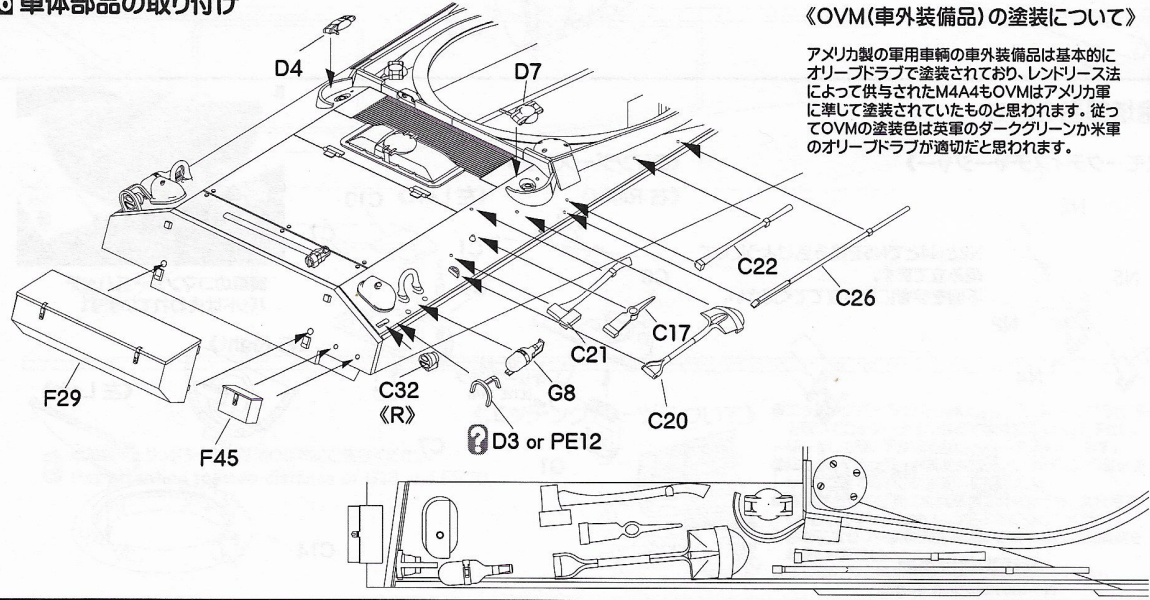


テールライト (C32・C33) は左右に注
意します。
Pay attention to distinguish left
part (C33) from right part (C32).

裏側から0.5mmのドリル
で開口します。
Make hole with
φ0.5mm drill.

エッチング12
PE12
ヘッドライトガードにエッチングを使用
する場合はC部品のランナーに彫刻さ
れている治具を使ってエッチング12を
曲げます。
If using PE12,
PE12 is bent with the Bending Jig in C-sprue.

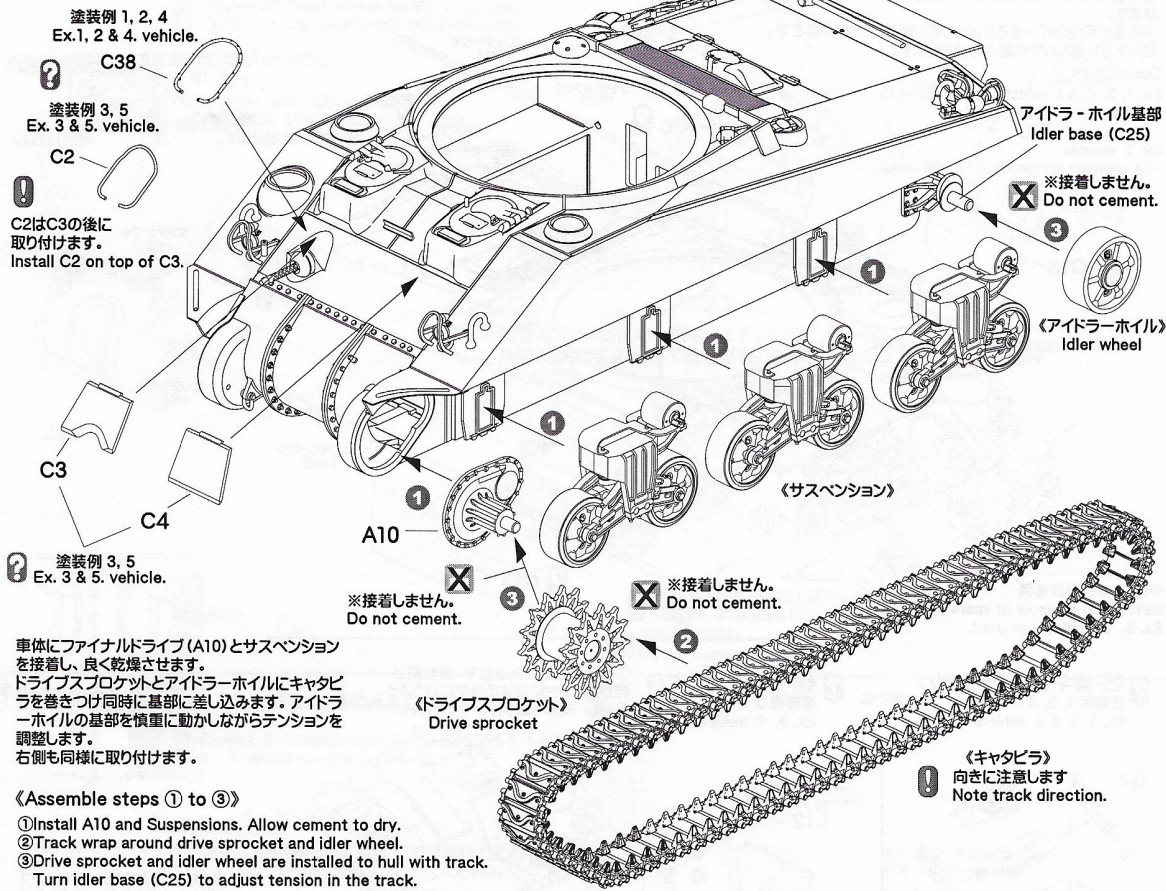
16 車体部品の取り付け



《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ製の軍用車輛の車外装備品は基本的に
オリブドラブで塗装されており、レンドリース法
によって供与されたM4A4もOVMはアメリカ軍
に準じて塗装されていたものと思われます。従っ
てOVMの塗装色は英軍のダークグリーンか米軍
のオリブドラブが適切だと思われます。

17 キャタピラの取り付け

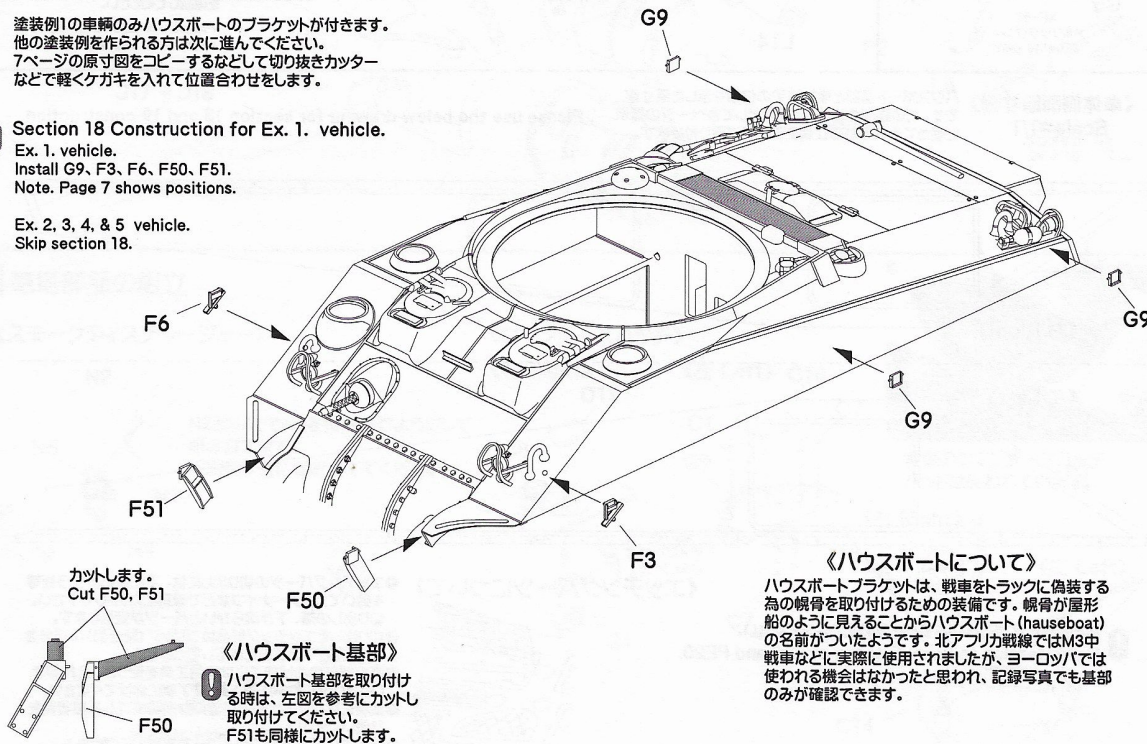


18 ハウスポート基部の取り付け

塗装例1の車輛のみハウスポートのブラケットが付きま
す。他の塗装例を作られる方は次に進んでください。
7ページの原寸図をコピーするなどして切り抜きカッタ
ーなどで軽くケガキを入れて位置合わせをします。

Section 18 Construction for Ex. 1. vehicle.
Ex. 1. vehicle.
Install G9, F3, F6, F50, F51.
Note. Page 7 shows positions.

Ex. 2, 3, 4, & 5 vehicle.
Skip section 18.



《ハウスポートについて》

ハウスポートブラケットは、戦車をトラックに偽装する
為の幌骨を取り付けるための装備です。幌骨が屋形
船のように見えることからハウスポート (houseboat)
の名前がついたようです。北アフリカ戦線ではM3中
戦車などに実際に使用されましたが、ヨーロッパでは
使われる機会は無かったと思われ、記録写真でも基部
のみが確認できます。

19 増加装甲の取り付け

塗装例1, 3, 4, 5の車輛のみ増加装甲 (C6, G13) を取り付けます。
下の原寸図をコピーするなどして切り抜き、カッターなどで軽くケガキを入れて位置合わせをします。

Section 19

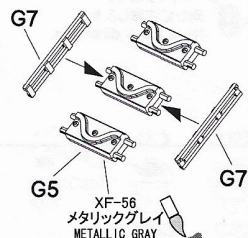
Ex. 1, 3, 4, & 5 vehicle install C6, G13
Position as per drawing below.

Ex. 2 vehicle
The applique armor (C6, G13) not used.

予備キャタビラ装着例
Installation example of spare track.
Ex. 3, 5. vehicle not used.

《予備キャタビララック》

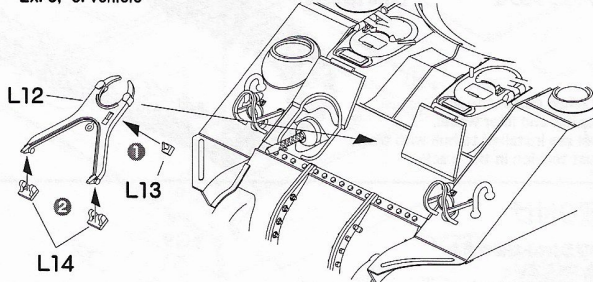
塗装例 1, 2, 4
Ex. 1, 2, & 4. vehicle



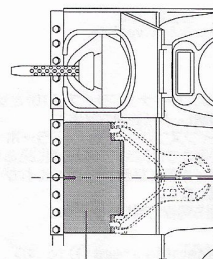
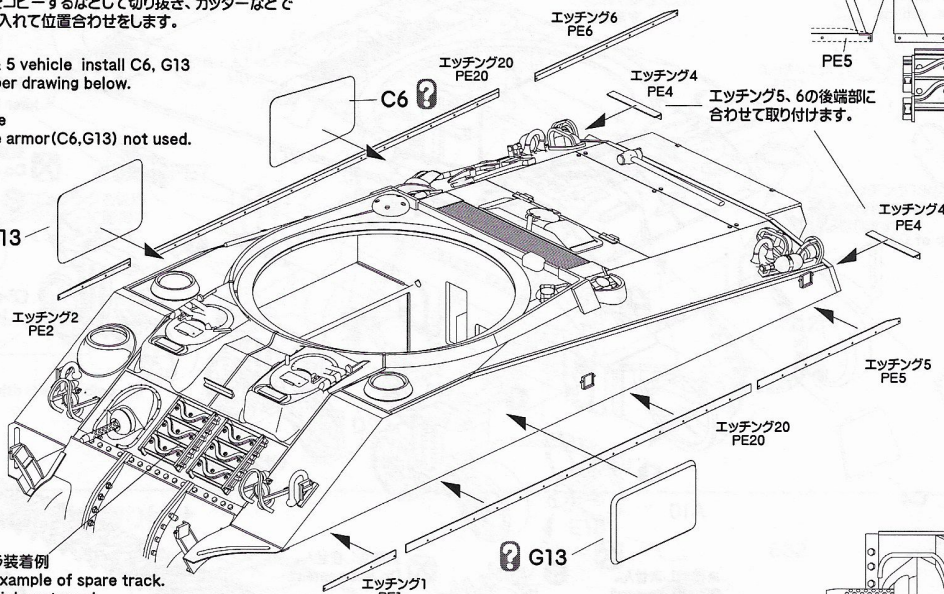
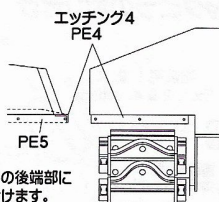
または
or

《トラベルクランプ》

塗装例 3, 5
Ex. 3, 5. vehicle



下図の番号順に組み立て、接着剤が乾かないうちに車体の角度に合うよう調整し、車体へ取り付けてください。



L23 (トラベルクランプ取り付け治具)

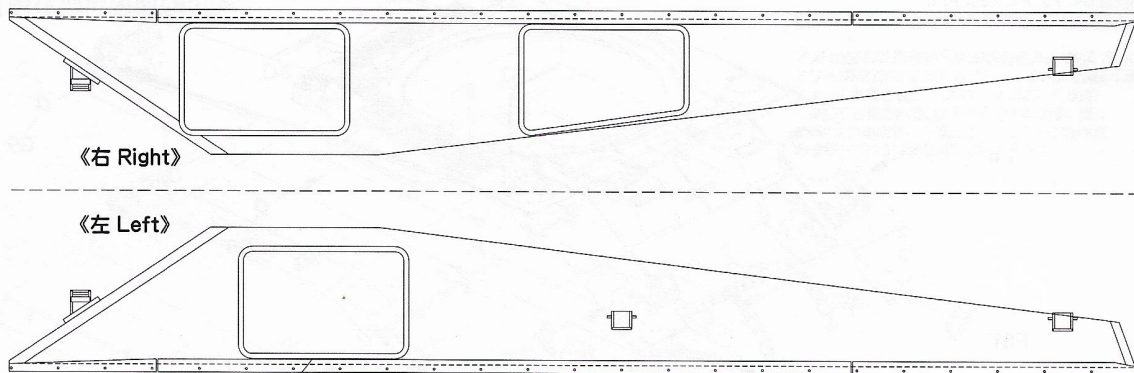
あらかじめL23(トラベルクランプ取り付け治具)を使ってしるしをつけてください。中央の六角ボルトと治具の切り込みを合わせて位置を確認してください。

Please use L23 as an aid to align travel clamp fixture.

《車体側面原寸図》 Scale=1/1

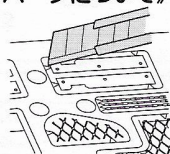
ハウスポート基部と増加装甲の位置を示した原寸図です。この図面をコピーするなどして各ページの指示に従ってそれぞれの仕様に合わせて取り付けます。

Please use the below drawing for section 18 and 19 construction.



《エッチングパーツについて》

増加装甲とサンドシールド基部の距離にご注意ください。
Pay attention to keep distance of G13 and PE20.



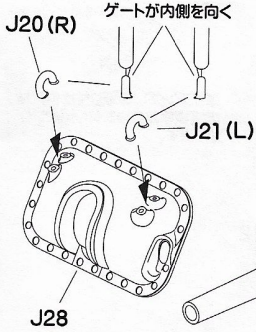
- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ(紫ざ目)の部分をやすりなどできれいに成形してください。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててすれないように丁寧に曲げてください。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布してください。

20 主砲の組立 塗装例1用の主砲の組み立てです。
 その他を作られる方は次に進んでください

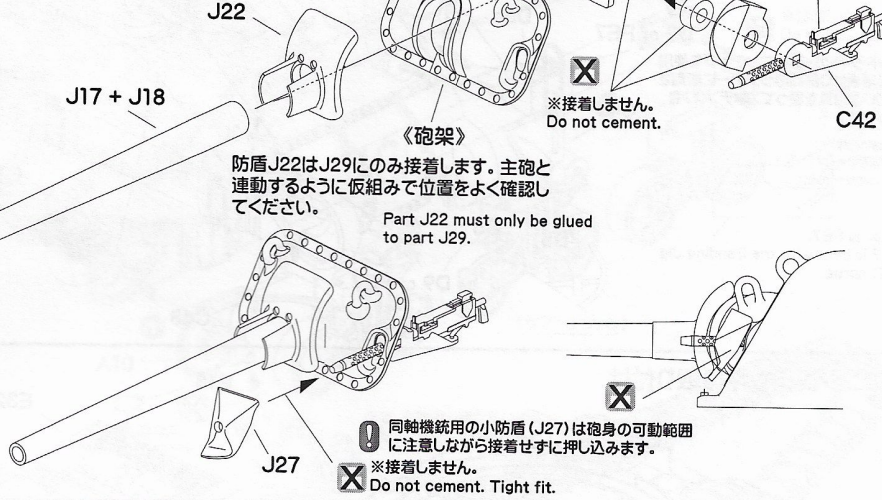
Section 20 Construction for Ex. 1. vehicle.
 Ex. 2, 3, 4 & 5 vehicle skip the section 20.

《砲架の組立》 左右を間違えないように
 注意します。

Note direction J20 and J21



塗装例1
 Ex.1. vehicle.



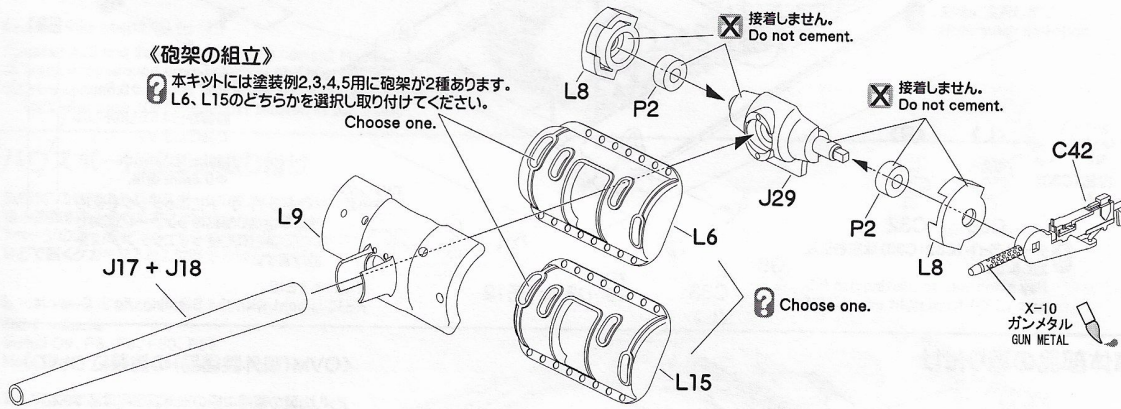
Part J22 must only be glued to part J29.
 Do not cement. Tight fit.

21 主砲の組立 塗装例 2,3,4,5用の主砲の組み立てです。

Section 21 Construction for Ex. 2, 3, 4 & 5 vehicle.
 Ex. 1 vehicle use the section 20.

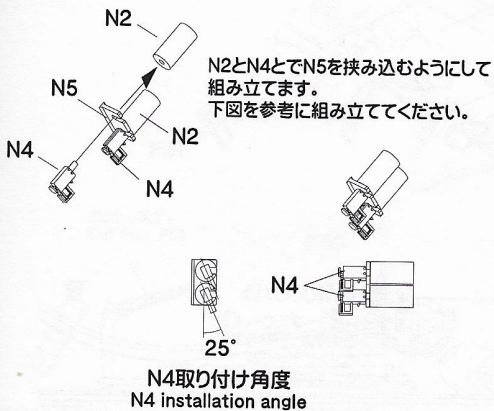
《砲架の組立》

本キットには塗装例2,3,4,5用に砲架が2種あります。
 L6, L15のどちらかを選択し取り付けてください。
 Choose one.



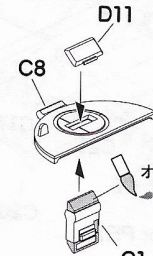
22 砲塔部品の組立

《スモークテイスチャージャー》

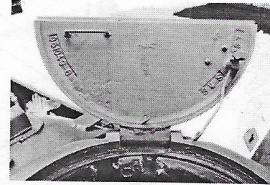
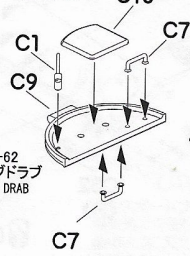


《コマンドースハッチ》

《右 Right》

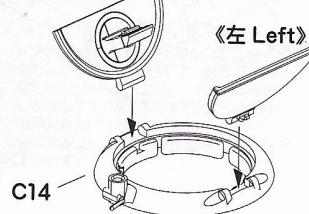


《左 Left》



実車のコマンドースハッチ
 ハットは失われています。

《右 Right》



《左 Left》

23 砲塔の組立

《M2重機関銃》

別紙で組み立てた機関銃を差し込みます。
組立説明は塗装説明書3ページをご覧ください。
Install M2 machine gun
Refer to painting instruction sheet page 3.

《コマンドースハッチ》

実車は回転するので取り付け角度は自由です。

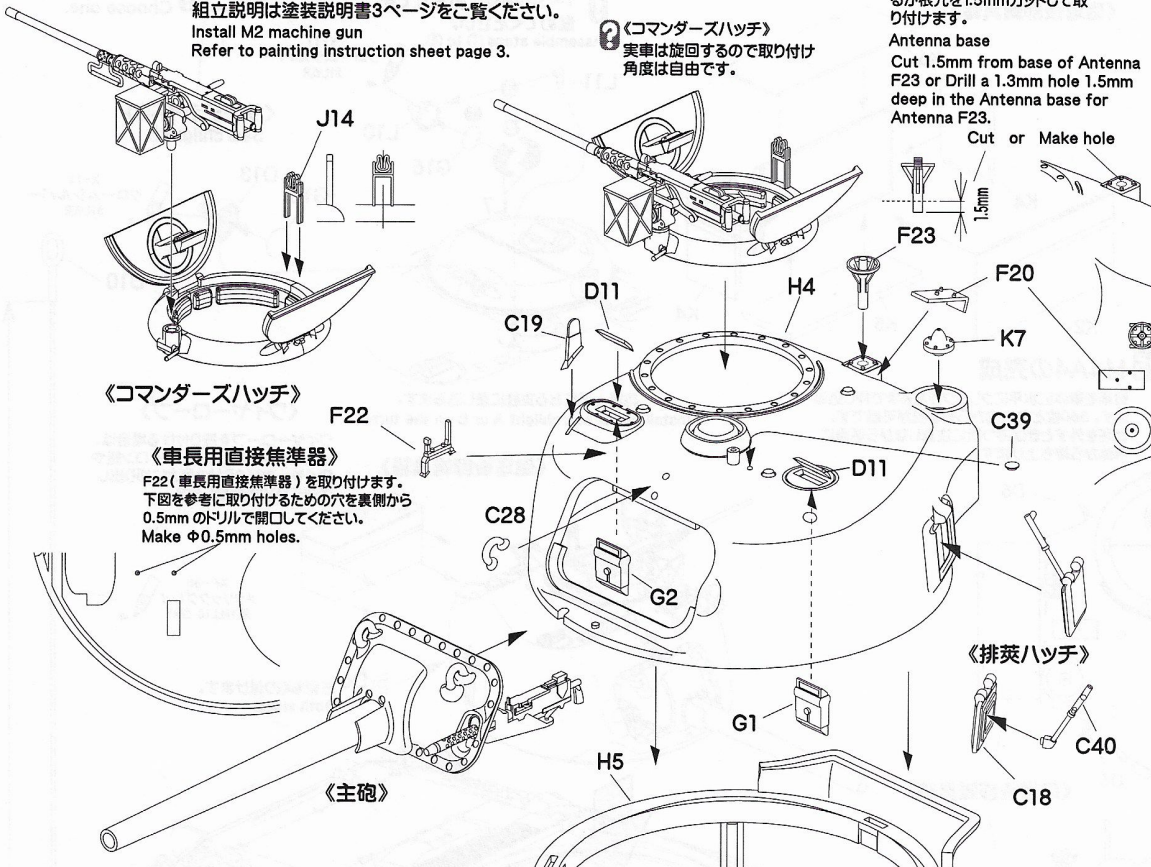
《アンテナ基部》

直径1.3mmの穴をドリルで開けるか根元を1.5mmカットして取り付けます。

Antenna base
Cut 1.5mm from base of Antenna F23 or Drill a 1.3mm hole 1.5mm deep in the Antenna base for Antenna F23.

Cut or Make hole

1.5mm



《コマンドースハッチ》

《車長用直接焦準器》

F22 (車長用直接焦準器) を取り付けます。
下図を参考に取り付けするための穴を裏側から0.5mmのドリルで開口してください。
Make ϕ 0.5mm holes.

F22

C19

D11

H4

F23

F20

K7

C39

C28

D11

G2

《排莢ハッチ》

C18

C40

《主砲》

H5

G1

J15 または F48

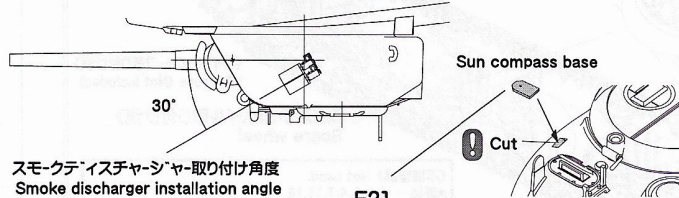
スモークディスチャージャー
取り付け位置

塗装例4のみ下図より実寸で6mm後方になります。
塗装説明書2ページを参考に取り付けてください。

Smoke discharger installation position

Ex4. Smoke Discharger installed 6mm from right side centre of turret as per diagram in Painting guide.

Ex1, 2, 3, 5 Use diagram below.



スモークディスチャージャー取り付け角度
Smoke discharger installation angle

Sun compass base

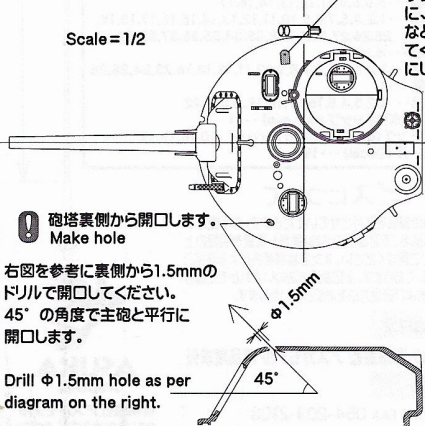
Cut

F21 《サンコンパス基部》

サンコンパス基部(F21)を取り付ける位置に、上図を参考に砲塔にあらかじめカッターなどで凹みを付けてから水平に取り付けてください。取り付け位置は左図を参考にしてください。

コマンドースシートJ15またはF48はフィギュアの足の高さに合わせて取り付けます。
Adjust Commanders seat as required for figure.

Scale = 1/2



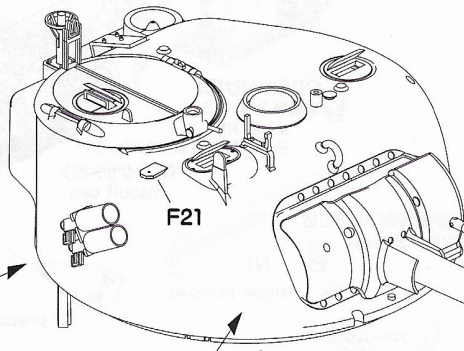
砲塔裏側から開口します。
Make hole

右図を参考に裏側から1.5mmのドリルで開口してください。
45°の角度で主砲と平行に開口します。

Drill ϕ 1.5mm hole as per diagram on the right.

《スモークディスチャージャー》

左図を参考に砲塔側面に取り付けます。
Smoke discharger is installed as per left drawing.



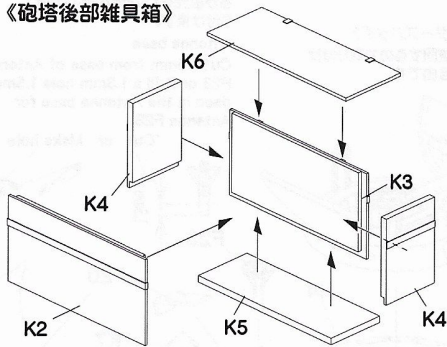
C5 Applique armor

取り付け自由です。
Optional
Ex.1, 2, 3, 5, . vehicle.

《増加装甲》 塗装例 1,2,3,5は増加装甲(C5)が取り付けられていた可能性があります。

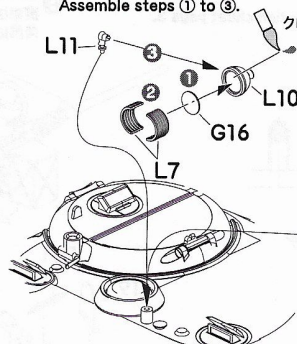
24 砲塔部品の組み立て

《砲塔後部雑具箱》



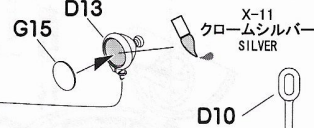
《サーチライトA》
Searchlight A

① 1~3の順番に組み立てを進めてください。
Assemble steps ① to ③.



② どちらか選びます。
Choose one.

《サーチライトB》
Searchlight B



25 M4A4の完成

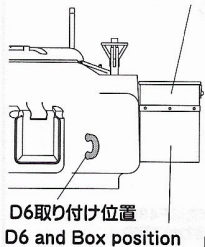
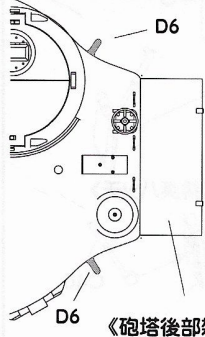
砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。360度どの方向からも着脱が可能です。砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

砲塔上面にある支柱に差し込みます。
Install either searchlight A or B on the turret.

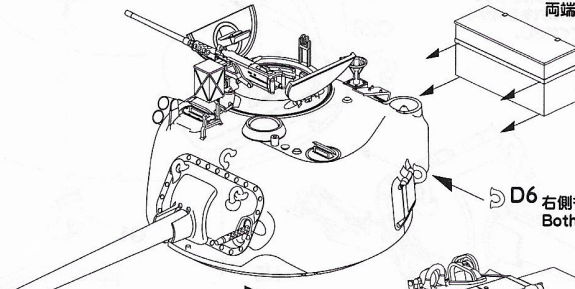
《砲塔後部雑具箱》

《ワイヤーロープ》

ワイヤーロープを取り付ける場合は、φ0.5ミリ程度の市販のナイロン紐やワイヤーを160ミリの長さで切り出し両端にD10を接着します。

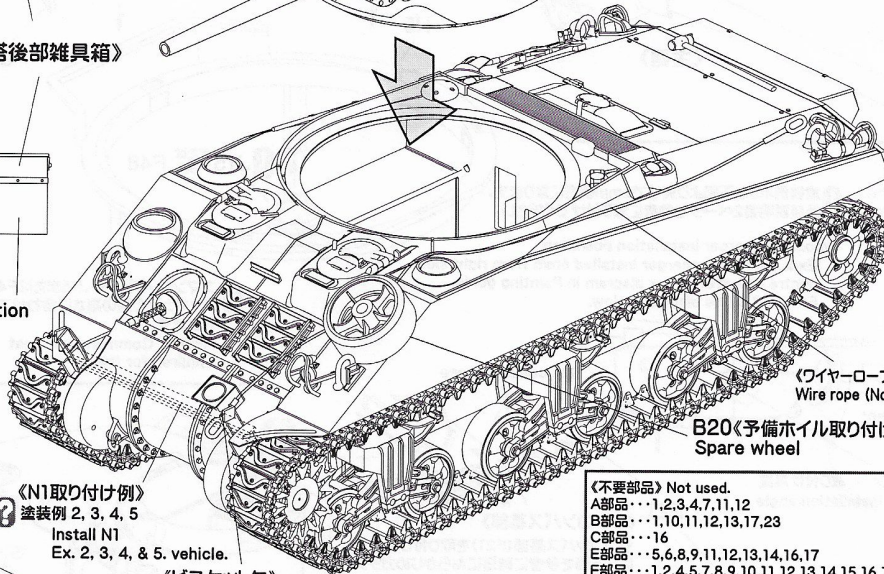


D6取り付け位置
D6 and Box position



XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

D6 右側も取り付けます。
Both sides.



《N1取り付け例》
塗装例 2, 3, 4, 5
Install N1
Ex. 2, 3, 4, & 5. vehicle.

《ビスケット缶》
Biscuit can

N1は塗装例1の時には
取り付けません。

N1
Ex. 1. vehicle. not used.

N1 position

X-11
クロームシルバー
SILVER

《ビスケット缶》
Biscuit can

N3

XF-61
ダークグリーン
DARK GREEN

XF-2
フラットホワイト
FLAT WHITE

デカール27を側面に貼ります。
Decal 27

《不要部品》 Not used.

A部品	1, 2, 3, 4, 7, 11, 12
B部品	1, 10, 11, 12, 13, 17, 23
C部品	16
E部品	5, 6, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 16, 17
F部品	1, 2, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 25, 26, 27, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40
G部品	4, 10
J部品	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 16, 23, 24, 25, 26
K部品	1
L部品	1, 2, 3, 4, 5, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22
P部品 (ポリキャップ poly cap)	1
エッチング (photo etched parts)	10, 16, 17, 19
デカール (Decal)	19

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたはFAX、お手数のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

お手紙での受付 / 部品代金の送付先

〒422-8027 静岡県駿河区豊田 3-5-30 有限会社 アスカモデル 部品請求係

メール / FAX での受付

《Mail》 info@asukamodel.com FAX. 054-203-2103



ASUKA
MODEL
有限会社アスカモデル
asukamodel.com

組み立てを始める前にお読みください

この説明書は35-016 イギリス陸軍シャーマンV (M4A4)の追加説明書です。組み立てに関しては、別紙の35-016 イギリス陸軍シャーマンV (M4A4)の組み立て説明書とあわせてご覧頂く必要があります。あらかじめそれぞれの説明書に目を通し、全体の流れを把握してから組み立てに入ってください。
 塗装図は全てキットの1/2サイズになっています。

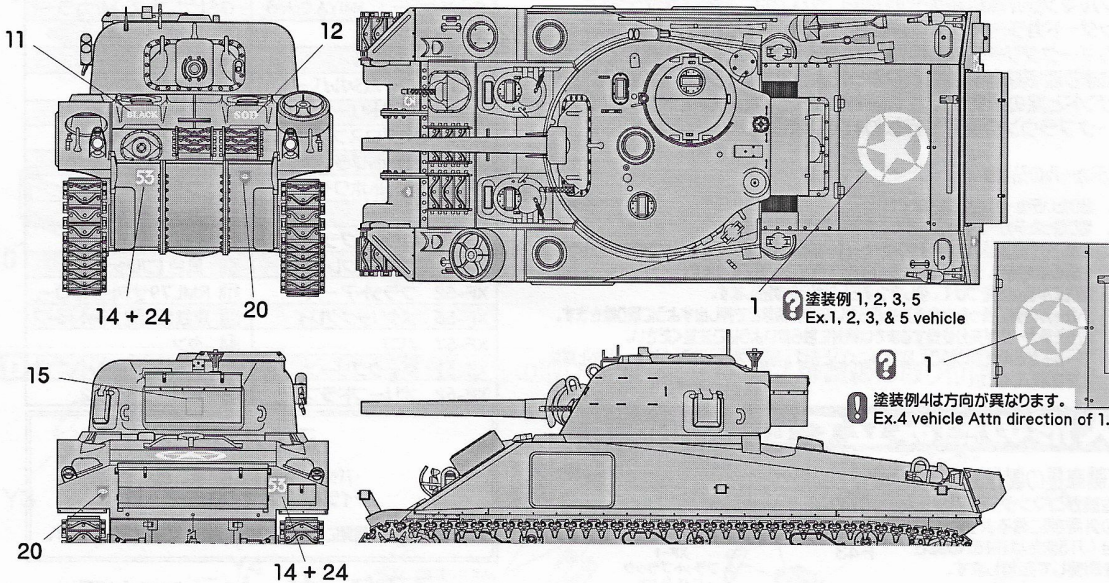
READ BEFORE BUILD

Please study instructions before assembly.
 The 35-016 Sherman V Kit has five different examples shown in the guide.
 Please build it after deciding which example you would like to build.
 Because, often the assembly instructions says ^{塗装例1,2} Ex. 1,2 vehicle. ... etc, It shows type of vehicle for choosing parts and position.
 The painting instructions is shown as 1/2 scale.

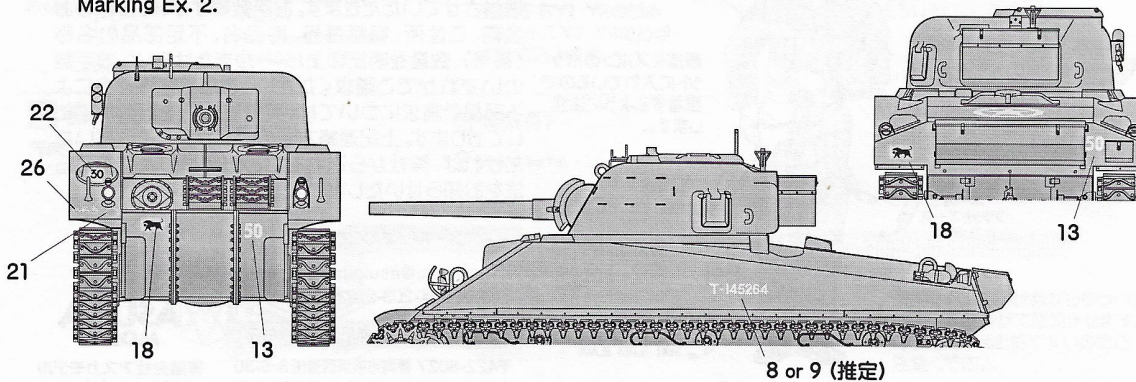
Mark guide

- Do not cement and attn moving.
- Pay attention.
- Choose type of vehicle.

塗装例 1 近衛機甲師団 第2アイルランド近衛連隊 第2中隊 1944年8月 ノルマンティイ
 No.2 Squadron, 2nd Irish Guards, Guards Armoured Division, August 1944 Normandy
 Marking Ex. 1.



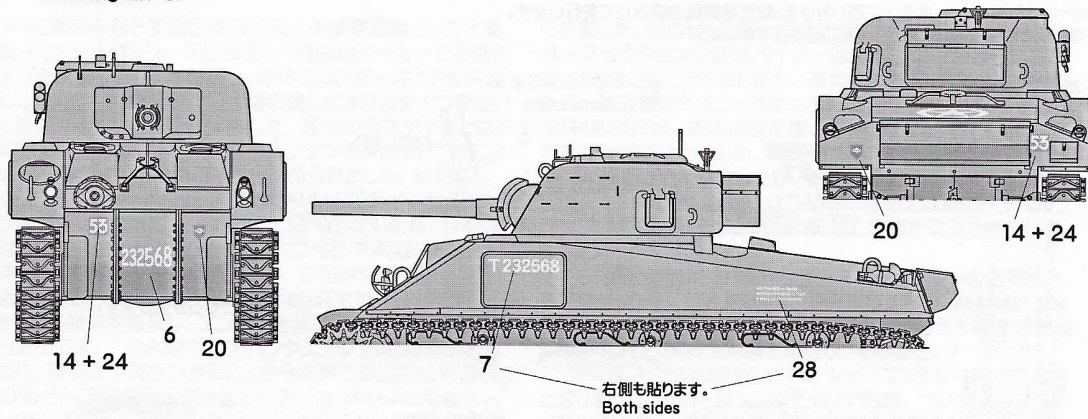
塗装例 2 第11機甲師団 第29機甲旅団 1944年7月 ノルマンティイ
 29th Armoured Brigade HQ, 11th Armoured Division, July 1944 Normandy
 Marking Ex. 2.



塗装例 3

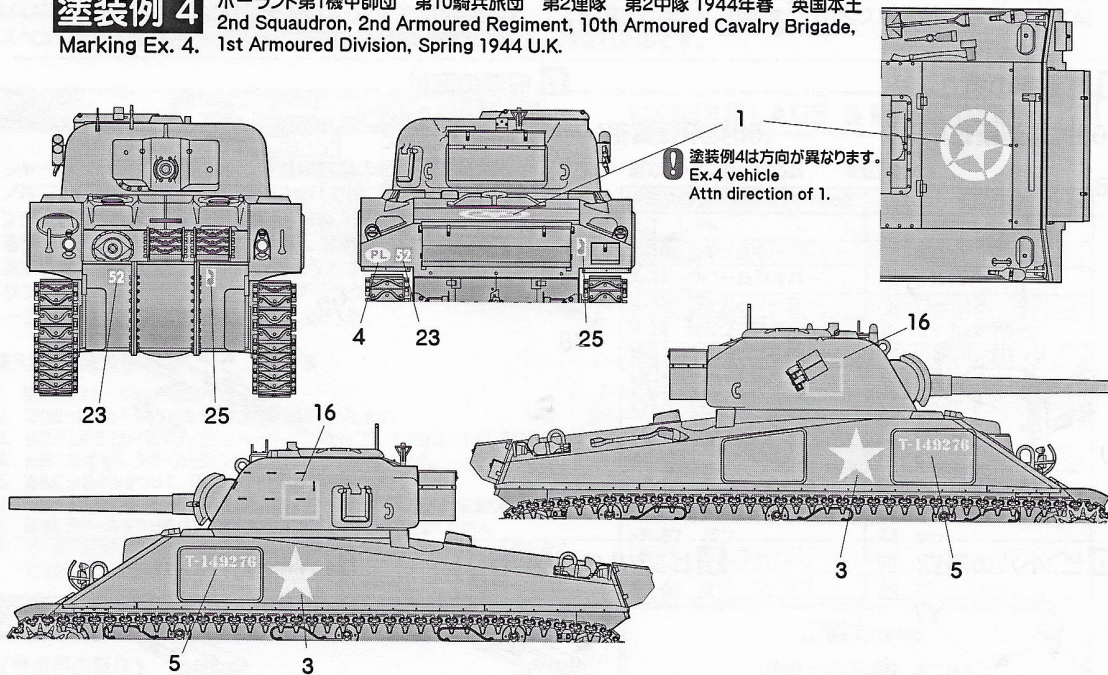
近衛機甲師団 第2アイルランド近衛連隊 第2中隊 1944年9月 オランダ
No.2 Squadron, 2nd Irish Guards, Guards Armoured Division, September 1944 Netherlands

Marking Ex. 3.



塗装例 4

ポーランド第1機甲師団 第10騎兵旅団 第2連隊 第2中隊 1944年春 英国本土
2nd Squadron, 2nd Armoured Regiment, 10th Armoured Cavalry Brigade,
Marking Ex. 4. 1st Armoured Division, Spring 1944 U.K.

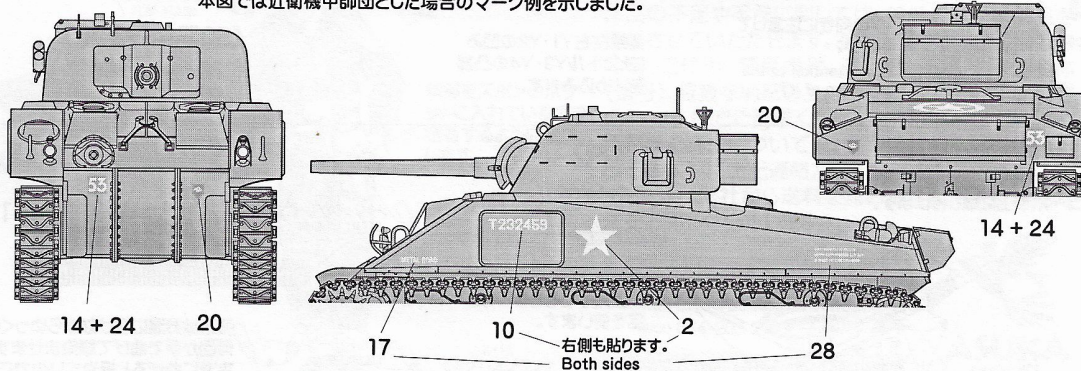


塗装例 5

所属不明 1944年7月ノルマンティイ カーン市街
Unit unknown, July 1944 Caen

Marking Ex. 5.

この車輛は所属不明ですが、カーンをめぐる攻防戦に参加した英戦車部隊のうちシャーマンVを装備していたのは近衛機甲師団と第11機甲師団であるため、このどちらかの可能性が高いと思われます。
本図では近衛機甲師団とした場合のマーク例を示しました。



This tanks unit is unclear, however this Sherman V participated in the battle around Caen.
It is thought this Sherman belongs to either the Guards Armoured Division or the 11th Armoured Division.
The markings show it belonging to the Guards Armoured Division.

M2銃機関銃の組み立て

ASSEMBLY M2 MACHINGUN

このページではキューポラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。

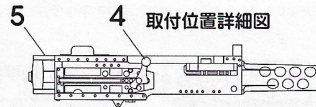
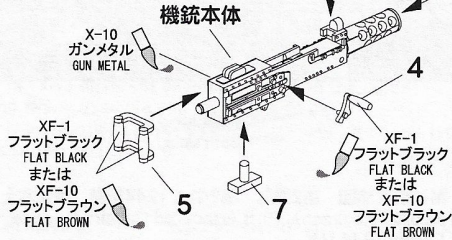
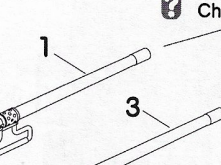
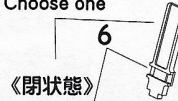
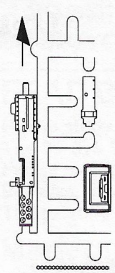
A 機銃本体の組立

ランナーから機銃本体を引き抜きます。

ゲートの跡を整形します。

② どちらか選びます
Choose one

② Choose one



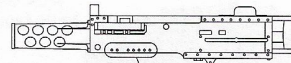
B 弾薬箱の組立

《100発用弾薬箱》

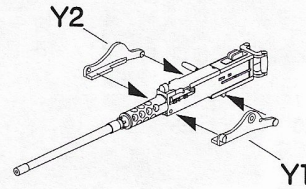
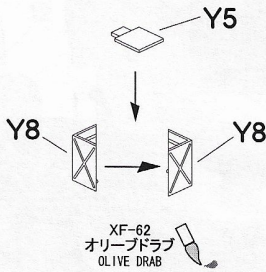
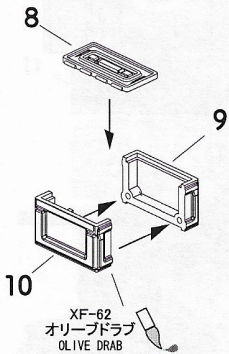
《50発用弾薬箱》

C 揺架の取付

機銃本体を取付けず揺架のみで組み立てることもできます。
この場合は接着部分が非常に小さくなるので注意して下さい。



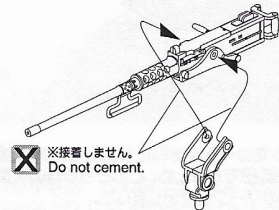
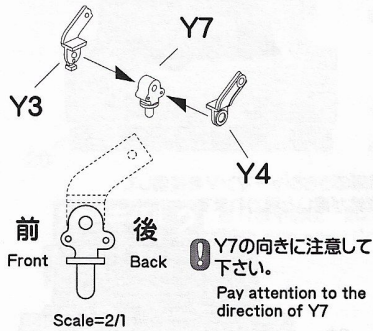
揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.



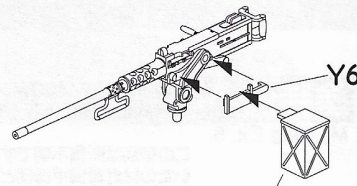
D ピントルの組立

E ピントルの取り付け

F 弾薬箱の取り付け



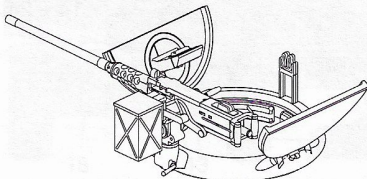
揺架左右Y1・Y2の凹みにピントルY3・Y4の凸部をはめ込みます。



《50発用弾薬箱》
弾薬箱の取り付けは自由です。

G 機関銃の取り付け

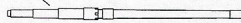
完成したM2重機関銃をキューポラ上に取り付けます。



Install M2 machingun on the cupola.

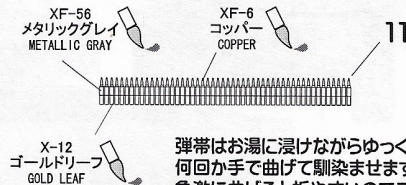
《予備銃身》

2 Spare barrel



本体から取り外した状態で使用するときはこの部品を使います。

《弾帯》



弾帯はお湯に浸けながらゆつくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいためご注意ください。

シャーマンV (M4A4)について

BRITISH ARMY SHERMAN V (M4A4)

アメリカ軍のみならず連合軍の事実上の標準戦車として大量に生産されたM4シリーズは当初より複数のメーカーで複数のタイプを生産することを考慮し、車体のコンポーネントを共通化し、基本的にはエンジンの仕様の違いにより各タイプを並行して生産する方法が採用されました。最初の基本タイプとなるM4及びM4A1は航空機用の星型エンジンを採用し、これによりM4シリーズの高いシルエットが形作られました。M4シリーズのエンジンはM4A2と少数生産のM4A6がディーゼルエンジンを採用した以外は全てガソリンエンジンでしたが、M4A4ではクライスラー製のトラック用のエンジンを同軸に5基連結するという非常に複雑な構成となり、必然的に体積も大型化することになりました。これによりM4の通常型の車体には収まりきらず、車体を延長し、エンジン容積を増して搭載することとなったのです。このA57マルチバンクエンジンは気筒数が30もあり、整備の手間がかかることから米軍での採用は見送られ、その殆どが英連邦諸国向けとされました。M4A4の量産は1942年6月から行なわれ1943年8月まで7499輛が生産されました。

M4A4はM4A1、M4A2の後に量産に入ったため垂直懸架サスペンションは最初からM3のものではなくM4用のものが用い

られました。他のM4各型と同様に極初期に採用されたドライブシャフトの直視パイザーは防衛上の理由から比較的早い時期に廃止されましたが、車体前端部のテフレンシヤルカバーは最後まで3ピースのものが使用されています。また他のM4各型同様、車体の装甲厚の不足が指摘され、各部に増加装甲が追加されました。砲塔についても当初幅の狭いM34砲架が採用されていましたが、後に防盾の幅を広げたM34A1に変更されました。後期になると車体前面には砲のトラベルクランプが追加されるなど戦訓に応じて各部が改良されていきました。

イギリス軍へ供与されたM4シリーズはシャーマンの愛称とともにM4から順にローマ数字の番号が与えられ、M4A4はシャーマンVと呼ばれました。総生産数7499輛のうち英連邦諸国に供与されたのは7168輛にのぼり、M4A2(シャーマンII)75mm砲型の5048輛をしのいでシャーマンシリーズでは最多となりました。シャーマンVはイタリア戦線、ついでノルマンティイ戦以降のヨーロッパやアジア方面でも使用され、また車体は17ポンド砲を装備するファイアフライVCのベース車体として流用されるなど、終戦までイギリス戦車部隊の中核として使用されたのです。

塗装とマーキング

シャーマンVの塗装は当時の英連邦諸国の戦闘車輛に準じてノルマンティイ戦以降の北西ヨーロッパではブリティッシュスタンダードカラーNo.15(カーキドラブNo.15)とよばれるいわゆるダークグリーン(カーキ)の単色塗装でした。北西ヨーロッパ戦域ではあまり迷彩塗装は施されなかったようです。イタリア戦線ではサンドと黒の迷彩のほか北部ではダークグリーンに黒またはダークブラウンの迷彩も行なわれていました。

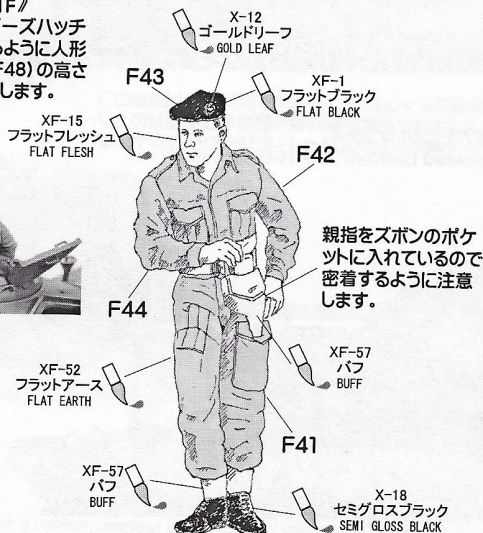
■テカールの貼り方

1. 貼りたいテカールを切り取ります。
2. 切り取ったテカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせます。
4. 台紙の端を持ち、テカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつすらしながら微調整します。
6. テカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったテカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくときは、蒸しタオルや市販のテカール軟化剤などを使用してください。

人形の組み立て COMMANDER

《戦車長の製作》

右腕がコマンドーズハッチの外周部に載るように人形台(J15またはF48)の高さを調整して接着します。



親指をスポンのポケットに入れているので密着するように注意します。

CAMOUFLAGE & MARKING

■カラーナンバー対応表 ※近似色です

タミヤカラー (TAMIYA Color)	GSIクレオス・Mrカラー
X-7 レッド	③ レッド
X-10 ガンメタル	28 黒鉄色
X-11 クロームシルバー	⑧ シルバー
X-12 ゴールドリーフ	⑨ ゴールド
X-18 セミグロスブラック	⑨2 セミグロスブラック
XF-1 フラットブラック	33 つや消しブラック
XF-2 フラットホワイト	33 つや消しホワイト
XF-6 コッパー	10 カッパー
XF-10 フラットブラウン	131 赤褐色
XF-15 フラットフレッシュ	51 肌色(フレッシュ)
XF-52 フラットアース	119 RML79サンドイエロー
XF-56 メタリックグレイ	28 黒鉄色+30フラットベース
XF-57 バフ	44 タン
XF-61 ダークグリーン	70 ダークグリーン
XF-62 オリーブドラブ	38 オリーブドラブ2

ご協力 (願不同)

- ・パッケージ原画: 島村 英二氏
- ・イラスト: モリナガ ヨウ氏

このほか製品の開発にご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたはFAX、お手数のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

メール / FAX での受付

(Mail) info@asukamodel.com
(FAX) 054-203-2103

お手紙での受付 / 部品代金の送付先

〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30
有限会社 アスカモデル 部品請求係



有限会社アスカモデル
asukamodel.com